

## 宇部市立小中学校の適正配置に係る関係校区協議会 各協議会の開催内容の概要

宇部市では、児童生徒数がピーク時の約3分の1に減少しているため、学校の適正配置について将来的に予測される児童生徒数・学級数により段階的な対応の基準を定め、この設置基準に基づき、平成22年7月に見初小学校、小野小学校、吉部小学校の3つの宇部市立小学校の適正配置に係る関係校区協議会を設置し、子どもたちのより良い学習環境を整備していくという教育的な視点及び市民と協働して取り組んでいくという視点から、該当校区、周辺校区の方々と市がそれぞれの小学校の適正配置について協議していくことになりました。

見初小学校については、平成24年3月協議を終了し、見初校区と神原校区の2つで、新たな組織を設置し引き続き協議していくことになりました。

小野小学校と吉部小学校については、平成23年4月、5月にそれぞれ協議を終了し、両校とも当面学校を存続して、将来必要に応じて協議を再開することになりました。

また、小野校区では、小野中学校の適正配置について協議を行うことになり、平成23年7月から協議を行っています。

開催経過については次のとおりです。

### 【小野中学校】

平成22年7月、小野小学校の児童数が将来減少することが予測されることから、「小野小学校の適正配置に係る関係校区協議会」を設置し、平成23年4月26日、第5回の協議会で、「当面、小野小学校を存続する」という結論をもって終了しました。その中で、将来生徒数が大幅に減少すると予測される小野中学校の適正配置について、協議する必要性が委員やオブザーバーから示され、この度、「小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会」を設置し、協議していくことになりました。

#### 《宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会 第1回》

日時 平成23年7月25日（月）19時00分～21時00分

場所 宇部市立小野ふれあいセンター 1階 会議室

内容

- ・委員に委嘱状の交付を行いました。（委員11名全員出席）
- ・会長と副会長が選出されました。
- ・協議会設置までの経緯や平成23年度の小野中学校の生徒数39名が、平成29年度は住民基本台帳から13名と予測されること等を説明しました。
- ・今後、協議会を2～3か月に1度のペースで開催し、平成23年度末までに小野中学校の適正配置の方向性について意見集約していくことを説

明しました。

- ・協議会の構成は、当面、小野校区の委員のみとし、必要に応じ隣接校区の参加を要請していくことになりました。

#### 委員の発言要旨

- ・小野中学校を無くすことは考えてないが、1学年2人という学年があるのはよくない。
- ・保護者は生徒数が少人数になることを真剣に悩んでいる。
- ・生徒数が少なくなっても問題にしていない。
- ・保護者や地域住民に小野中学校の適正配置について説明してほしい。
- ・地域としては中学校を残して欲しいので、教育環境を整える方法を地域全体で考えていきたい。

### 《宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会 第2回》

日時 平成23年9月28日（水）19時00分～20時50分

場所 宇部市小野ふれあいセンター 1階 会議室

- 内容
- ・第1回協議会の内容を確認。
  - ・8月19日開催の小野地区振興対策委員会で、委員から出た意見について報告しました。
  - ・小規模校の課題について説明しました。
  - ・多くの校区住民の意見を聴くために、校区説明会を開催することになりました。

#### 委員の発言要旨

- ・少人数の中で、生徒に競い合う心が芽生えるか、闘争心が芽生えるのか。
- ・生徒数が減っても、状況を乗り切り、いずれ小野の子どもを増やしたい。
- ・小野中学校がなくなるのは寂しい。
- ・中学校は、生徒数は少ないが、全体で動いている。
- ・教員が個別の対応をしてくれるのでありがたい。
- ・少人数だからいろいろな役ができる。
- ・体育や音楽の授業が困るが、工夫して改善したらよいのではないか。
- ・多くの校区住民の意見を聴くために、この協議会で校区説明会を開催したらどうか。

### 《宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会 第3回》

日時 平成23年12月21日（水）19時00分～20時50分

場所 宇部市小野ふれあいセンター 1階 会議室

- 内容
- ・11月2日開催の小野中学校保護者説明会について報告しました。

- ・ 11月17日開催の小野校区説明会「小野中学校を考えるつどい」について報告しました。
- ・ 小、中学校と、未就学児の保護者アンケートについて協議し、実施することになりました。
- ・ 今後の協議会の予定について協議し、次回の協議会でアンケート結果を踏まえて校区の意見を集約することになりました。

#### 委員の発言要旨

- ・ 保護者アンケートは、隣接校の近い市街地とは異なるので、小野校区の状況を踏まえた内容、表現にしてほしい。
- ・ 保護者アンケートは、記載内容が分からないように、封筒に入れて回収するようにしてほしい。

### 《宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会 第4回》

日時 平成24年2月7日（火）19時00分～20時35分

場所 小野ふれあいセンター 1階 会議室

- 内容
- ・ 第4回協議会の出席委員は10名。
  - ・ 1月30日の教育委員による小野小中学校訪問について報告しました。
  - ・ 小学校、中学校、保育園の保護者アンケート結果について報告しました。
  - ・ 小野中学校の生徒によるアンケート結果が報告されました。
  - ・ 校区の意見を集約するため、教育委員会事務局職員を除いて委員のみで協議が行われましたが、再度、各団体内で意見交換等を行い、次回の協議会で意見集約することになりました。
  - ・ 次回の協議会は、各団体の定例会等の後の3月末頃を目途に開催することになりました。

#### 委員の発言要旨

- ・ もう1度、アンケート結果を各団体に持ち帰って、どういう方針でいくか協議したい。
- ・ 3月に開催される各団体の会議等で意見交換などを行いたいので、次回の開催は3月下旬にしてほしい。

### 《宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会 第5回》

日時 平成24年3月27日（火）19時00分～21時00分

場所 宇部市小野ふれあいセンター 1階 会議室

- 内容
- ・ 第5回協議会の出席委員は10名
  - ・ 各団体の意見を確認して、協議会の意見を集約しました。
  - ・ 今後の協議会の予定について説明しました。

- ・教育委員会は、集約された意見を踏まえ、次回の協議会で教育委員会の方針を示していくことにしました。

#### 協議会で集約された意見

「小野中学校を存続して、学校の教育活動を地域で支援していき、5年後に協議会を設置する。」

#### 委員の発言要旨

- ・このまま存続し、地域と行政で協力し他校との交流で小規模校のデメリットを解消する。
- ・存続に「賛成」が7割、残りの3割は余裕のある今から統合を検討した方が良い（校区コミュニティ、小野地区振興対策委員会の意見）
- ・留学生の受け入れ、里親制度の取組、特認校制度の活用などで生徒数を増やす。
- ・全体的によくわからない（悩んでいる）という人が多い（中学校PTAの意見）
- ・アンケートでは悩んでいるという人が多かったが、中学校は存続してもらいたい、でまとまった（小学校PTA）
- ・中学校は存続してもらいたい。（保育園保護者の意見）
- ・なんとか解決したいが、結論は出なかった。（老人クラブの意見）
- ・アンケートで統合に「賛成」が20%では、統合に踏み切れない。5年後、子どもが減少した時点で、その時の保護者に考えてもらう。（自治会連合会の意見）

### 《宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会 第6回》

日時 平成24年5月16日（水）19時00分～20時30分

場所 小野ふれあいセンター 1階 会議室

- 内容
- ・第6回協議会の出席委員は11名
  - ・第5回協議事項と協議会で集約された意見を確認しました
  - ・協議会で集約された意見を踏まえて行われた教育委員会会議で決定した教育委員会の方針を提示しました  
「将来10数名の生徒数となる小野中学校は、教育の機会均等や「生きる力」を育む教育環境の整備という観点から、生徒数が20人以下と予測される平成26年度を目途に厚東中学校と統合計画の策定を開始する。」
  - ・教育委員会の方針に、委員の同意が得られず協議会としての結論には至りませんでした。
  - ・委員が各団体に教育委員会の方針を持ち帰り、要請があれば、教育委員会から説明することとしました。

#### 委員の発言要旨

- ・平成26年度を目途に統合計画を策定するのか。
- ・予測人数は10人台だが、20人以上になったときは存続するのか。
- ・教育委員会の方針は、地域の同意が無い場合には変えてほしい。
- ・廃校になると再開できない。休校の扱いとなるのか。
- ・教育委員会の方針を地域に直接説明してほしい。
- ・今年吉部地区から2人入学した。5人の同級生の中に2人加わるだけで生き生きしている。
- ・教育委員の意見を全て教えてほしい

#### 《宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会 第7回》

日時 平成25年6月12日（水）19時00分～21時10分

場所 小野ふれあいセンター 1階 会議室

- 内容
- ・第7回協議会の出席委員は10名、欠席1名
  - ・新たに就任された委員に委嘱状を交付しました。
  - ・4月14日に小野中学校の保護者等を対象として開催した、「小野中学校に係るアンケート調査」の意見交換会において、当協議会でアンケートの実施についての協議を行ってほしいという意見が出されたので、アンケートの実施、対象、内容について協議しました。
  - ・アンケートの対象は、校区の中学生以上の全員と、校区外に転出された50代までの方の全員としました。

#### 委員の発言要旨

- ・中学校の生徒数が20人以下に減ると、ひどい教育環境になるのだろうか。
- ・10年後を見据えて、当事者として協議に参加している。
- ・当事者意識の無い人にアンケートして、協議会の意見として集約するのは反対である。
- ・小野にいる保護者の意見だけで集約するのは背負うものが大きすぎる。
- ・校区外から帰るのは少ないがゼロではないと思う。
- ・20代30代で外に住んでいる方の意見はすごく大切である。
- ・校区内の中学生以上の全員にアンケートして意見を出してもらおう。
- ・地区外の方は、小野中学校の卒業生で、中学生の当事者と考えられる50代までを対象にする。
- ・地区外の方は、自治会長に各家庭の卒業生数を把握してもらい、自治会長から配布してもらおうようお願いする
- ・地区外の方のアンケートは、帰省されるお盆の時期を活用する。
- ・アンケートは、中学校の統合か存続を問うシンプルな内容にする。
- ・アンケートに枠を大きくした自由記載欄を入れる。
- ・地区外の人に、将来帰る希望があるか無いか考えていないかを聞きたい。

## 《宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会 第8回》

日時 平成25年10月30日(水) 19時00分～20時40分

場所 小野ふれあいセンター 2階 小会議室

- 内容
- ・第8回協議会の出席委員は9名、欠席2名
  - ・第7回の協議会で調査対象や内容、実施方法について協議し、8月に実施した「小野中学校の統合に係るアンケート」結果により、今後の進め方について協議しました。
  - ・小野地区の方の、回収数は814、回収率59.9%。統合は必要ないが20.0%、必要と思う15.0%、将来必要と思う16.2%、条件を整えれば止むを得ない43.5%でした。
  - ・小野地区外の方の、回収数は121、回収率65.8%。統合は必要ないが23.1%、必要と思う9.9%、将来必要と思う12.4%、条件を整えれば止むを得ない52.9%でした。
  - ・アンケート結果に対する小野校区の住民の意見をとりまとめて、次回、望ましい教育環境について協議することになりました。

### 委員の発言要旨

- ・子どもの教育の視点と地域の問題としての視点からの意見がある。中学校の廃止がどれだけ地域に対するインパクトがあるか事例があれば示してほしい。
- ・市を跨ぐような動きもある、厚東中ありきで議論してよいのか。
- ・厚東中学校は1学年10数名しかいない。統合しても部活の制限を受けるかもしれない、数年で小野と同じようなら簡単に統合に賛成できない。
- ・全国的に子どもが少なくなっている。この際、徹底的に良い方向を考えてほしい。
- ・市内から通学者を増やすように、通学バスなどの支援ができないか。
- ・「条件を整えれば止むを得ない」の回答が多くある、具体的な条件が示されれば意見が違ふのかと思う。学校では、まず少人数でできることを考えて行っている、学校の対応は安心しているが、将来に不安がある。
- ・小学校高学年の保護者の危機感は非常に高い。統合についてまとまるのであれば具体的な条件を示してほしい。統合が無理なら少人数でできることを考えてほしい。
- ・小野地区は山口市の学校に距離が近い、近い学校へ通えないか。
- ・学校は生徒が学ぶところ、地域のために子どもが犠牲にならないよう子ども達を優先して考えないといけない。先で厚東中学校も統合されるのではないか、厚東より多い学校と統合できないか。
- ・統合以外に小野中学校の生徒を増やす方法はないのか。
- ・アンケート結果を配った地域の反応が見たい。

## 《宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会 第9回》

日時 平成26年1月15日（水）19時00分～20時30分

場所 小野ふれあいセンター 1階 会議室

内容

- ・第9回協議会の出席委員は9名、欠席2名
- ・8月に実施した「小野中学校の統合に係るアンケート結果」を各戸配布して意見を求めた結果、意見が出なかったことを報告しました。
- ・小野地区自治会連合会及び小野地区振興対策委員会へアンケート結果について説明したことを報告しました。
- ・協議会は、教育委員会の方針の厚東中学校と統合することを追認して、協議会を終了しました。
- ・今後は、小学生・中学生・未就学児の保護者、自治会・コミュニティ組織等の代表を中心とした新しい組織をつくり、統合について協議することとなりました。また、協議内容を必要に応じて対策委員会等関係団体に経過報告して進める。

### 委員の発言要旨

- ・統合の時期が決まっていると、中学校の行事計画を立てやすい。
- ・通学方法、スクールバスの運行はきめ細やかな運行を考えてほしい。
- ・小野小学校の、平成26年度入学数は4名。
- ・小野中学校と厚東中学校の統合形態、対等合併の新設校になるか。
- ・団体の代表として協議会委員になっているが、反対意見もあるので、団体の代表として統合に賛成とは言えない。
- ・規模の小さい厚東中学校との統合が良いか。
- ・統合後、学校を再開するため離島のように、廃校ではなく休校扱いができるか。
- ・小学校5年の2人が入学してくる1年後の対応が急がれる。
- ・協議会は教育委員会の方針を追認して、教育委員会で統合と決めたら新しい組織で協議を進めて行く。

### 平成24年5月 教育委員会の方針

将来10数名の生徒数となる小野中学校は、教育の機会均等や「生きる力」を育む教育環境という観点から、生徒数が20人以下と予測される平成26年度を目途に厚東中学校と統合計画の策定を開始する。

## 【見初小学校】

### 《宇部市立見初小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第1回》

日時 平成22年7月22日（木）19時00分～20時45分

場所 宇部市立見初小学校 図書室

内容

- ・委員に委嘱状の交付を行いました。
- ・会長・副会長の選出は、見初、岬、神原校区の委員の代表者が後日話し合っ  
て決定することになりました。
- ・協議会設置までの経緯や見初小学校の平成21年度児童数145人が、平  
成27年度には、住民基本台帳から27人減の118人と予測しているこ  
と等を説明しました。

#### 委員の発言要旨

- ・それぞれの校区で子どもたちが少なくなることをどう考えているかが重要。
- ・子どもが少ないことが良くないというのは理解できない。
- ・教育環境を児童にとって最善になるようにすることが大切。
- ・子どもの教育的効果とコミュニティのバランスは関係ないのでは。
- ・学校が統合したら、長所も短所もある。

### 《宇部市立見初小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第2回》

日時 平成23年6月21日（火）19時00分～20時30分

場所 宇部市勤労青少年会館 2階 集会堂

内容

- ・第2回協議会の出席者は見初、岬、神原校区の委員14名。
- ・第1回協議会以降の各校区の経過等を説明しました。
- ・岬校区委員から、岬校区での協議経過及び岬小学校の単独存続を市へ要望  
したこと等について説明がありました。
- ・会長と副会長が選出されました。
- ・今後、協議会は2～3か月に1度のペースで開催し、23年度末までに見  
初小学校の適正配置の方向性について意見を集約していくことになりまし  
た。

#### 委員の発言要旨

- ・岬校区は、岬小学校の単独での存続の要望書を市に提出した。
- ・岬校区委員は、協議会に継続して参加していきたい。
- ・見初校区から会長を選出し、副会長は会長の指名としたらよい。
- ・見初小学校、神原小学校、神原中学校のPTA主催で、保護者を対象に1  
学期中にアンケートを実施し、保護者の考えを把握したい。また、結果を  
協議会でも活用したら良いのではないかと。



### 《宇部市立見初小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第3回》

日時 平成23年10月4日（火）19時00分～20時45分

場所 宇部市勤労青少年会館 2階 集会堂

- 内容
- ・第3回協議会の出席者は見初、岬、神原校区の委員12名。
  - ・第2回協議会の経過等を説明しました。
  - ・岬校区は、岬小学校の単独存続を要望していますが、引き続き3校区で協議を継続することとなりました。
  - ・見初小学校の保護者アンケートの結果が報告されました。
  - ・見初小学校の適正な規模は1学年2～3学級が望ましいということになりました。
  - ・見初小学校の通学距離は、2km程度が望ましいということになりました。
  - ・次回は、神原小学校と神原中学校の保護者アンケート結果を報告することになりました。

#### 委員の発言要旨

- ・小規模校のメリット・デメリットを言ってもしょうがない。統廃合は、実際の問題として検討すべきで、学校規模は、ある程度の集団が必要であり、ふさわしい通学距離でないといけない。
- ・クラス替えのない1学年1学級は問題がある。1学年2～3学級が適正な規模と思う。
- ・小規模校のメリット・デメリットで、見初小学校においては、きめ細かな指導ができる。余裕教室が活用できる。校区が小さくいろいろな問題に対応しやすい。というメリットがある。また、人間関係が固定化しやすい。PTAの個人あたりの仕事が増えて、総力戦になる。子どもたちの人間関係のリフレッシュが必要となる。などのデメリットがある。
- ・校区を考えずに、教育の環境を考えて行きたい。

### 《宇部市立見初小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第4回》

日時 平成23年11月10日（火）19時00分～20時30分

場所 宇部市勤労青少年会館 2階 集会堂

- 内容
- ・第4回協議会の出席者は見初、岬、神原校区の委員11名。
  - ・第3回協議会の経過等を説明しました。
  - ・各学校から通学距離2kmの範囲を図面で確認しました。
  - ・各小学校の予測児童数の推移と統合した場合のシミュレーションを説明しました。
  - ・神原小学校と神原中学校の保護者アンケート結果が報告されました。
  - ・適正配置の協議の方向性としては、見初と神原は前向きに協議を進めていくこと、岬は今後とも単独で存続していくことの意見交換をしました。
  - ・次回は1月に開催し、それまで各校区内で協議して、協議会の意見集約を

行うことになりました。

- ・教育委員会は集約された意見を踏まえ、3月開催予定の協議会で教育委員会の方針を示していくことにしました。

#### 委員の発言要旨

- ・私たちの小中学校の通学距離は、郊外の学校に比べてとても短く、一番恵まれている。
- ・自転車通学の必要ない神原中学校は、通学に恵まれている。
- ・神原小学校、神原中学校の保護者アンケートでは、小学校の適正規模は2から3学級が一番多く、見初校区と神原校区の統合についての反対が少ない。
- ・岬校区としては、この検討協議会の方向性を早く出してほしい。
- ・協議を進めて早く結論を出さないと、岬小学校建替えの問題が長引いてしまう。
- ・3月までに協議会の意見集約を行い、見初小学校と神原小学校が統合する方向で意見集約されれば、両校区の新たな組織により協議すればよい。

#### 《宇部市立見初小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第5回》

日時 平成24年1月31日（火）19時00分～21時00分

場所 宇部市勤労青少年会館 3階 視聴覚室

- 内容
- ・第5回協議会の出席者は見初、岬、神原校区の委員10名。
  - ・見初小学校の適正配置について、見初、神原、岬の3校区代表から、それぞれの校区の意見を報告した後、これら3校区の意見を協議会で集約して、参加委員10名全員で承認されました。

#### 《3校区の意見》

##### ○見初校区

見初小学校と神原小学校が、将来統合していく方向で、新たな組織で協議していく。

##### ○神原校区

小学校の規模は1学年2～3学級が望まれるため、見初と神原の両校区が、前向きに協議していく。

##### ○岬校区

岬校区は、岬小学校を単独で存続する。

#### 《協議会で集約された意見》

見初小学校と神原小学校を将来統合する方向で、両校区の新たな組織で協議して行く。岬小学校は単独で存続する。

## 《宇部市立見初小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第6回》

日時 平成24年3月1日（木）19時00分～20時10分

場所 宇部市見初ふれあいセンター3階 大会議室

- 内容
- ・第6回協議会の出席者は見初、岬、神原校区の委員12名。
  - ・第5回協議事項と決定事項を確認しました。  
前回、協議会で集約された意見（3校区の意見集約）  
「見初小学校と神原小学校は、将来統合する方向で、両校区で新たな組織で協議をしていく。岬小学校は単独で存続する。」
  - ・教育委員会の方針を提示しました。  
「見初小学校と神原小学校を統合に向け協議していくため、両校区に（仮称）見初・神原校区の新しい学校づくり準備委員会を設置する。なお、岬小学校は単独で存続する。」
  - ・教育委員会の方針が協議会の結論となりました。

### 委員の発言要旨

- ・協議会の報告会は各校区でしないといけないと思う。
- ・見初小学校の保護者に協議会の経緯を報告書で伝える。
- ・新しい準備委員会で校区の説明会を開いたら良い。
- ・統合するにしても、それまで時間がかかるので、いまの校舎の耐震化について対応してほしい。

### 《宇部市立見初小学校の適正配置に係る関係校区協議会の結論》

「見初小学校と神原小学校を統合に向け協議していくため、両校区に（仮称）見初・神原校区の新しい学校づくり準備委員会を設置する。なお、岬小学校は単独で存続する。」

## 【小野小学校】

### 《宇部市立小野小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第1回》

日時 平成22年7月30日(金) 19時00分～21時00分

場所 宇部市小野ふれあいセンター 1階 会議室

内容

- ・委員に委嘱状の交付を行いました。
- ・会長・副会長の選出は、小野小学校の適正配置に係る協議会と吉部小学校の適正配置に係る協議会を合同で開催し、合同の会長を選出するという提案が廃案となったため、後日、小野小学校の適正配置の協議会の会長は、小野校区の委員が協議することになりました。
- ・協議会設置までの経緯や小野小学校の平成21年度児童数40人が、平成27年度には、住民基本台帳から14人減の26人と予測していること等を説明しました。

#### 委員の発言要旨

- ・学級の児童数が2人や3人で学校教育ができるのだろうか。
- ・地域の学校がなくなることは、とても大きな問題。子どもたちと地域の方とのふれあいがなくなる。
- ・協議会で現状のままでも良いとなる場合もある。
- ・今後は、小野校区の委員だけで協議していきたい。

### 《宇部市立小野小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第2回》

日時 平成22年11月24日(水) 18時30分～19時45分

場所 宇部市小野ふれあいセンター 1階 会議室

内容

- ・第1回協議会の内容を確認。
- ・会長が選出され、副会長は会長が次回協議会までに調整することになりました。
- ・未就学児の保護者等、校区の多くの方の意見を聞くため、保育園の保護者など5名のオブザーバーを各団体から推薦してもらい、協議会に参加していただくことになりました。
- ・次回の協議会は12月に開催し、オブザーバーとして参加していただく未就学児の保護者等による意見交換を実施することになりました。

#### 委員の発言要旨

- ・未就学児童の保護者等、校区の多くの意見を聞きたい。
- ・女性の保護者の意見も聞きたい。
- ・地域の意見をさらに聞く必要が生じたときには、地域の団体をオブザーバーとして追加してほしい。
- ・小規模校のメリット・デメリットを示してほしい。

### 《宇部市立小野小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第3回》

日時 平成23年1月13日（木）18時30分～20時30分

場所 宇部市小野ふれあいセンター 1階 会議室

- 内容
- ・第3回協議会の出席者は、小野校区の委員とオブザーバー5名（小野校区の多くの方のご意見を聴くために保育園の保護者等各団体から推薦されたオブザーバー5名に参加していただきました。）
  - ・第2回協議会までの経過について、説明しました。
  - ・副会長については、選出せずに協議を行っていくことになりました。
  - ・小規模校の課題の説明をしました。
  - ・小野小学校の見学会の開催について提案がありました。

#### 委員及びオブザーバーの発言要旨

- ・学校間の交流事業などを実施して小規模校のデメリットを解消してほしい。
- ・小学校はこのまま地域に残して、小野中学校の将来を考えてほしい。
- ・小規模のメリットを特化して、学校を継続してほしい。
- ・小学校がなくなると若い世代に住むように働きかけられない。
- ・地域全体で十分考えていない、統廃合するときは地域住民の総意で決めてほしい
- ・小野中学校から高校へ進学して戸惑う生徒がいる。
- ・山村留学など他地区から児童生徒が転入する事業を市が取り組んでほしい
- ・平成27年予測では中学生が12人となっている、中学校が成り立たないのでは。
- ・若い世代が、小野にもどらないのは、小学校よりも中学校が小規模だからとの意見がある。

### 《宇部市立小野小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第4回》

日時 平成23年3月16日（木）18時30分～20時00分

場所 宇部市小野ふれあいセンター 1階 会議室

- 内容
- ・第4回協議会の出席者は、小野校区の委員とオブザーバー
  - ・前回の協議会の内容について、説明しました。
  - ・意見交換の後、小野校区委員とオブザーバーの意見をまとめました。
  - ・今後の予定について協議し、今回は、現在のメンバーでなるべく早く開催して、小野校区の意見に対する教育委員会の方針を示すことになりました。

#### 《小野校区委員等の意見のまとめ》

- 小野小学校は、現状のまま維持して欲しい。
- 少人数の学校のメリットを活かし、他の学校と交流を深める等デメリットを小さくする工夫をした教育活動をして欲しい。

#### 委員及びオブザーバーの発言要旨

- ・小野小学校は、現状のまま残して欲しい。
- ・学校間の交流授業を増やして欲しい。
- ・小野の良さを残して欲しい。(自然、少人数だからできる素直さ)
- ・小学校だけの適正配置を考えるのではなく、小学校・中学校をセットで考える。
- ・小中連携で考えていく。小規模校の良さを前面に出す。
- ・小野中学校については、適正配置の協議が必要。
- ・児童の将来予測数が20人以下になれば協議を再開する。

#### 《宇部市立小野小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第5回》

日時 平成23年4月26日(水) 18時30分～20時00分

場所 宇部市小野ふれあいセンター 1階 会議室

内容

- ・第4回の協議会意見のまとめに対し、本市の見解を示し、承認されました。
- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について説明しました。
- ・小野中学校の適正配置の協議会の設置について協議しました。今後、小学校の協議会を構成していた団体等から、新たに委員を推薦していただき、小野中学校の適正配置の協議会を設置することになりました。

#### 委員及びオブザーバーの発言要旨

- ・学校間の交流授業の充実を宇部市教育委員会は十分に取り組んで欲しい。
- ・小野中学校の協議会の委員になる方は、適任の方になっていただきたい。

#### 《宇部市立小野小学校の適正配置に係る関係校区協議会の意見のまとめ》

- 宇部市立小野小学校の適正配置に係る関係校区協議会は終了し、必要になったときに再度協議会を設置する。
- 小野小学校を現状のまま存続させる。
- 小規模校のデメリットを小さくする教育活動を要望する。
- 小野中学校の適正配置について協議を希望する。

#### 《宇部市立小野小学校の適正配置に係る関係校区協議会の結論》

- 宇部市立小野小学校を当面存続し、協議会を解散(終了)する。  
ただし、将来の児童予測数が20名に以下になる状況が予測された時点、小野校区(地域)の住民が希望した場合、または、宇部市教育委員会が設置すべきと判断した場合には再度協議会を設置する。
- 交流授業の実施など他小学校との連携を重視した教育を実施する。
- 宇部市立小野中学校の適正配置に係る関係校区協議会を早急に設置する。

## 【吉部小学校】

### 《宇部市立吉部小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第1回》

日時 平成22年7月28日（水）19時00分～20時45分

場所 宇部市立吉部小学校 体育館2階 ミーティングルーム

内容

- ・委員に委嘱状の交付を行いました。
- ・会長・副会長の選出は、吉部小学校の適正配置に係る協議会と小野小学校の適正配置に係る協議会を合同で開催し、合同の会長を選出するという提案があったため、選出は持ち越されました。
- ・協議会設置までの経緯や吉部小学校の平成21年度児童数26人が、平成27年度には、住民基本台帳から3人減の23人と予測していること等を説明しました。

#### 委員の発言要旨

- ・吉部小学校と小野小学校の適正配置の協議会は、一緒にしたらよい。
- ・吉部校区の全世帯を対象に説明会を実施してほしい。（協議会終了後）

### 《宇部市立吉部小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第2回》

日時 平成22年12月27日（月）18時30分～20時30分

場所 宇部市吉部ふれあいセンター 2階 視聴覚室

内容

- ・第2回協議会の出席者は、吉部校区の委員とオブザーバー（第1回協議会の後に吉部校区の委員で協議が行われ、今後は、吉部校区の委員6名と校区の多くの方のご意見を聴くために吉部子ども会育成連絡協議会等から推薦されたオブザーバー4名で開催していくことになったため。）
- ・第1回協議会の内容とこれまでの経緯について、説明しました。
- ・会長、副会長については、選出せずに協議を行っていくことになりました。
- ・小規模校の課題及び適正配置資料（シミュレーション）の説明をしました。
- ・意見交換

#### 委員及びオブザーバーの発言要旨

- ・吉部小学校の適正配置の協議について、より良い教育環境の整備を考えるというより、吉部小学校の統廃合と考えている方が多くいる。
- ・吉部住宅団地は、小学校があるから移り住まれる方がいると思う。
- ・近隣小学校と交流事業を進め、小規模校のデメリットを解消してほしい。
- ・昔、分校の児童の学力は高かった。小規模校の教育環境が悪いとは思わない。
- ・学校がなくなれば、村（地域）がなくなる。
- ・子どもたちの将来をどうしたらよいか考える必要がある。

- ・中学校の統廃合は反対ではないが、小学校は小規模校でも吉部に必要。
- ・楠中学校にバスで通学してみて、小学生の場合は、時間がかかるのでスクールバスで通わせたくない。

### 《宇部市立吉部小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第3回》

日時	平成23年2月23日（水）18時30分～21時00分
場所	宇部市吉部ふれあいセンター 2階 視聴覚室
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回協議会の出席者は、吉部校区の委員とオブザーバー</li> <li>・これまでの経過を説明しました。</li> <li>・意見交換の後、第4回の協議会は3月下旬に開催して、意見を集約する予定になりました。</li> </ul>

#### 委員及びオブザーバーの発言要旨

- ・学校規模によりメリットもデメリットもある。
- ・隣接小学校との小小連携や、中学校との小中連携により教育環境の向上を図っている。
- ・吉部小の子どもは少人数でものびのび育っている。
- ・小学校の教育面のみでなく吉部地域づくりとして考えていきたい。
- ・児童数を増やして、せめて複式学級を解消したい。
- ・吉部小の適正配置について、住民にアンケートしてはどうか。
- ・大体意見が出たので、あと1～2回で意見を集約してほしい。

### 《宇部市立吉部小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第4回》

日時	平成23年3月24日（木）18時30分～20時15分
場所	宇部市吉部ふれあいセンター 2階 視聴覚室
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席者は、吉部校区の委員とオブザーバー</li> <li>・前回の協議会の内容について説明しました。</li> <li>・意見交換の後、今後の予定について協議しました。次回は、協議会の意見を集約することと、今後の吉部小学校の教育環境を考えていく新しい場について協議することになりました。</li> </ul>

#### 委員及びオブザーバーの発言要旨

- ・意見は出尽くしたので、このまま学校を残し、何年か先にまた協議してはどうか。
- ・吉部が中心となって市北部の人づくりを進め、小学校を地域の財産として大切にし、教育環境を地域の最重要課題として考えていく住民主導の協議をすべきではないか。
- ・教育環境について、子どもの人数が何人になったから協議をしようという



ことでよいのか。

- ・吉部小学校では、校区の高齢者が学校の運営等に関わっていただいております、学校があることが地域の活性化に役に立っていると思う。
- ・10年後に社会がどうなっているのか。地域の過疎化が進んでいることは間違いなく、だからこそ10年先に責任を持ちたい。
- ・吉部小学校の現状で満足しているので危機感は少ない。校区全体で考えていくことは大事だが、子どもが卒業すると学校と関係がなくなるので、関心が無くなる。
- ・子どもが一人になっても小学校を残して欲しい。
- ・地域は学校を中心に考えていく。学校は地域の拠りどころ。
- ・コミュニティスクール（学校運営協議会制度：学校の運営に保護者や地域の住民の声を反映）の取組を地域として考えていきたい。

### 《宇部市立吉部小学校の適正配置に係る関係校区協議会 第5回》

日時 平成23年5月11日（水）18時30分～20時10分

場所 宇部市吉部ふれあいセンター 2階 視聴覚室

- 内容
- ・出席者は、吉部地区の委員とオブザーバー
  - ・第4回の協議会の内容について説明しました。
  - ・協議会意見のまとめ、教育委員会の方針を示し、承認されました。
  - ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について説明しました。

委員・オブザーバーの発言要旨

- ・吉部小学校は、現状のまま残して欲しい。
- ・吉部小学校と校区団体との関わりは、他校区にないくらい充実している。
- ・吉部小学校の教育環境について、地域住民で今後も継続して考えていく。
- ・学校間の交流事業の充実には十分取り組んで欲しい。
- ・コミュニティ・スクール制度の周知は、校区全体にして欲しい。

### 《宇部市立吉部小学校の適正配置に係る関係校区協議会の意見のまとめ》

- 宇部市立吉部小学校の適正配置に係る関係校区協議会は終了し、地域の中で吉部小学校の将来を考えていく。必要になったときは再度協議会を設置する。
- 吉部小学校を現状のまま存続させる。
- 小規模校のデメリットを小さくする教育活動を要望する。
- 吉部校区の住民による組織の中で、今後も継続して吉部小学校の教育環境を考えていく。

### 《宇部市立吉部小学校の適正配置に係る関係校区協議会の結論》

- 宇部市立吉部小学校を当面存続し、協議会を解散（終了）する。  
ただし、吉部校区（地域）の住民が希望した場合、または、宇部市教育委員会が

設置すべきと判断した場合には再度協議会を設置する。

○交流授業の実施など他小学校との連携を重視した教育を実施する。

○吉部小学校コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を平成24年度に設置し、その中で適正配置について協議を継続していく。